

# 清友

No. 201

2026年5月  
(2026年5月8日発行)

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



眩しい新緑 (とある登山道にて)

快晴の5月3日、平和憲法施行79年、有明防災公園で「つながろう、憲法いかして平和な世界を！26憲法大集会」が開かれ、昨年を大幅に上回る5万人が集まりました。退職者会の参加者も昨年より多い14名でした。

## 多様な市民の声で改憲阻止

メインスピーカーは2人。ノンフィクション作家吉岡忍さんは、『スパイ防止法』や『国旗損壊罪』制定の動きは、国家を肥大化させるもの、中央集権的で強い国は戦争に行き着く」と警告し、「言論空間に飛び交う



## 戦争反対！改憲反対！ 退陣退陣 高市政権！

情報に左右されない知識を、憲法基盤につくり上げることが大切」と強調しました。人権問題に取り組みColabo代表仁藤夢乃さんは「戦争で真っ先にないがしろにされるのは女性と子ども、女性の人権と平和を守ることは地続きだ」と訴えました。

## 連帯挨拶をした『市民連合』

新潟国際情報大学教授佐々木寛さんは、「今、社会生活は危機に直面し、戦争とジェノサイドは終わりが見えない。高市政権は社会の行き詰まりから国民の目をそらし、憲法改正の議論へと結びつけようとしている

る。これに抗し、『ママ戦争を止めてくるわ』と、一人一人の多様な市民が街で声を上げている。共に信じられる未来を作ろう」と表明しました。その後のリレートークでは、福島原発被害、核兵器禁止、スパイ防止法反対等の訴えがありました。

## 若い人のユニークな取組み

集会会場は、昨年までとはかなり違う雰囲気。参加者数が増えただけでなく、若い人が目につきました。手作りのカラフルなプラカードが多く、高市の似顔絵をあしらった「この人キケン！武器輸出・監視社会・戦争する国」のプラカードには笑えました。「ハグ・握手」行動をする人や、楽器持参グループなど幅広さを感じ取れました。

## ラップ調でノリノリのデモ

集会後のパレードは、「憲法改悪、絶対反対」「戦争、反対」「退陣退陣、高市政権」などラップ調でコール。若い人が増えたことにより、集会もデモも楽しいものになりました。良きかな。そして、全国で約230ヶ所、10万もの人が声をあげました。

## 5月15日 目黒不動～ 林試の森+ランチ宴会

春の「フィールドワーク」は「目黒の歴史探訪と自然観察&ランチ宴会」。蛸薬師「成就院」、305体の羅漢が出迎える「五百羅漢寺」と、平安初期建立と伝わる「目黒不動」を見学し、「林試の森」で、豊かな自然を観察。歴史と自然を同時に楽しみます。



目黒不動/男坂

そして、いつものようにランチ宴会です。

参加連絡は、まだ間に合います。

- ▼開催日 5月15日(金) ※予備日5月21日
- ▼集合 10時 / 東急目黒線「不動前」駅
- ▼コース 蛸薬師成就院、五百羅漢寺、目黒不動見学と林試の森観察
- ▼宴会 武蔵小山駅付近でランチ宴会
- ▼参加費 2,500円(拝観料含む)

## 6月12日 第18回定期総会

第18回定期総会を、次のように開催します。

- ▼開催日 6月12日(金) 10時15分開会
- ▼会場 清掃会館ホール
- ▼懇親会 12時30分開始

懇親会会費千円

今月の定例連絡に、「出欠連絡」用ハガキを同封しました。6月5日頃を目途に返送してください。なお、経費節減のため、「出欠連絡」のNET対

応を行います。NET可能な方にはハガキを送りません。

総会議案は、①活動方針案、

②費用弁償費支給基準案、③

会計予算案です。「費用弁償費

支給基準」は、この1年間の

試行を踏まえて成案化したも

のです。ご検討ください。

今年は、役員改選の総会で

す。役員が不足していて困っ

ています。「我と思わん方」は

よろしくお願いいたします。

## 7・17 ボウリング交流会 東京ドームで開催

昨年、思いつきで企画したボウリング交流会を、今年も、7月17日に東京ドームボウリングセンター(後楽園の黄色いビル)で行います。

一応、東京清掃ボウリング大会の「予選会」的な位置付けも兼ねますが、純粋にゲームを楽しみ、ゲーム後の交流会で盛り上がるのが目的です。ボウリングだけの参加もOK

- 日時 7月17日(金) 13時30分
- 集合 13時30分
- 会場 東京ドームボウル(水道橋駅西口下車、黄色いビル)
- 大雑把な行程
- 2ゲームを予定(1時間半位)
- ゲーム後、水道橋で交流会
- 会費 3000円の予定



## 秋の行事

9月に学習交流会、10月・11月に日帰ツアーと博物館見学会

### 学習会のテーマは「国会報告」

9月開催予定の学習会のテーマは「国会報告会」にしたいと考えています。講師は東京清掃を通じて依頼する予定です。

実施詳細は、5月幹事会で検討します。皆さんへのお知らせは6月以降になります。

### 博物館見学ツアーは江戸東京博物館を予定

学習会以外の秋の行事は、日帰りツアーと博物館見学会を予定しています。

日帰りツアーの場所は5月幹事会で検討しますが、博物館見学会は、新装なった江戸東京博物館を予定しています。日程は日帰りツアーの行き先などを踏まえて、10月と11月に振り分けることとなります。



# OTC類似薬保険適用見直し等 健康保険法改悪案は成立の危機

「持続可能な医療保険制度の実現」に向けた「世代間・世代内の負担公平性確保」を理由とする「OTC類似薬の保険適用見直し、後期高齢者保険料に金融所得反映」を盛り込んだ健康保険法改正案は、附帯決議を付すことにより、多数の野党も賛成し、衆院で可決、参院に送付されました。

## 附帯決議の効果は疑問

附帯決議の主な内容は、①保険外療養の要配慮措置の将来に亘る維持、過度な負担が生じないよう配慮、②一部保険外療養の対象範囲は患者団体等の指摘を踏まえ、十分検討、③制度導入後の影響実態を把握・検証、可逆的見直しを含む見直しを行う、④高額療養費制度支給要件等見直しに留意する、⑤国民の健康状態悪化につながらないよう、詳細な影響を継続的に検証し、必要に応じて速やかに見直しを行うなどですが、歴史的に見ても、附帯決議の内容が顧みられる例は極めて少なく、効果

は期待できません。

## 保団連は「廃案」訴える

法案の衆院通過を受け、全国保険医団体連合会（保団連）は「一部保険外療養の創設は、薬剤費を公的保険から外していくもので、日本の公的医療保険制度の根幹に関わる大問題」と、強い懸念を示し、「参院で徹底審議の上、廃案にするよう」求める声明を発表しました。

## 高額療養費見直しを廃案に

一方、高額療養費自己負担引上げの取扱いは法改正事項ではないため、このままでは、政府の決定により今年8月から「応能負担」が強化され、月額上限額は大幅に引き上げられます。患者団体は依然として制度改悪反対の姿勢を貫いています。OTC類似薬の保険適用見直しと高額療養費自己負担引上げを合わせても現役世代の保険料軽減は月額150円に過ぎません。あくまでも、参院での廃案を求めていく必要があります。



# 「現役世代の負担軽減」誰の指で

多くの政党が「現役世代の負担軽減」を主張しています。格差が拡大し「先が見えない」という思いを抱く「若者受け」が狙いでしょう。社会保障制度との関係を含め、考えてみます。

## 社会保障費の伸びは縮小

現役世代の社会保障料率は上昇してきましたが、年金保険料は18・3%で固定され、健康保険料も概ね固定化傾向です。

一方、給付は、高齢化のピークとされる40年時点の推計では、社会保障費のGDP比は減少します。年金抑制策等の効果が現れるからです。むしろ、若い世代ほど先行きの年金額は増えます。そういう制度設計だからです。問題を立てるにあたり、「負担」と「給付」の関係を正確に分析するべきです。

## 「受益」毀損に合理性なし

維新は「高齢者の窓口負担を3割に」と主張しています。医療費の伸びは高齢化より医療の高度化の方が影響は大きいと、厚生省は資料で示しています。

世界的にも医療費は増大傾向にあります。医療費の伸びをGDP比で抑制している先進国は存在しません。健康水準向上という「受益」を毀損してまで負担軽減をすることに合理性がないからです。若い人もいずれば高齢者になります。

## 「負担軽減」の恩恵は誰に

社会保障の大きな役割の一つは、所得再分配を通じた格差の是正です。格差が拡大している今、社会保障が担う役割は比重を増しています。負担抑制を目的化し社会保障のもつ再分配機能を弱めれば、さらに格差は拡大します。格差の拡大が中長期的成長を抑制すると、OECDは以前から指摘しています。

給付と負担の関係では、高所得者は「負担」の比率が大きく低所得者は「給付」の比率が大きくになります。「負担軽減」で恩恵を受けるのは高所得者と、保険料を負担する企業であることを忘れてはなりません。



# 清掃・人権交流会「荒川フィールド ワーク」に参加して感じたこと

3月29日の日曜日、清掃・人権交流会主催の荒川フィールドワークに行ってきました。

## 現地で学ぶ貴重な機会

差別問題を現地で現物を見て学ぶ、それも楽しく学べる貴重な機会だと思います。天候にも恵まれ、満開の桜を見て都電にも乗り、楽しい一日を過ごすことができました。

案内してくれたのは部落解放同盟荒川支部小野崎佳代さん。地元愛から、人気の鰻屋さんを紹介する脱線ぶりも良かった。



延命寺首切り地蔵

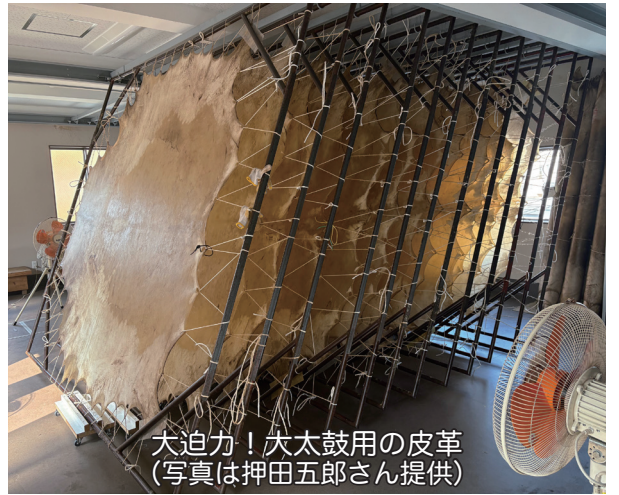
## 差別の実態を改めて認識

回向院の観蔵記念碑、延命寺の首切地蔵、投げ込み寺とも呼ばれる浄閑寺を回って、江戸時代この辺が小塚原という刑場であったこと、虐げられた人々の苦しみ、差別された人々の経験が書物だけで学ぶ知識より正確で科学的であったことに想いを馳せることができました。当時の地図や絵も併せ説明があり、南千住駅前の道路、今はなんともない舗装道路ですが、当時は「白骨街道」ともよばれていたなど、衝撃的な話もありました。

荒川さつき会館で、小野崎佳代さんの話を聞き、ご自身の苦労、荒川の部落差別、大量差別はがき事件・鳥取ループなど現



浄閑寺新吉原総霊塔



大迫力！大太鼓用の皮革  
(写真は押田五郎さん提供)

代でも無くならない差別について見識を深めました。

## 身近な処から見直す契機に

皮革産業というのは墨田だけと思っていたら、前のフィールドワークで訪れた草加にもあり、今回は荒川にもあって、減ったとは言ってもまだ操業していることを知りました。

会館の周りを百メートルほど歩いただけで、差別につながる場所や跡地を十数か所も案内され、自分が普段過ごしているところにも、そのような場所があるのに見落としているのかも知れないと思いました。

〈記事と写真・岡澤徹〉

## 再審法の抜本的改正

袴田事件の袴田巖さんは、事件発生から無罪確定まで58年、再審開始決定から無罪確定まで10年、冤罪に苦しみました。

その原因は、検察が無罪につながる証拠を隠し続けたことや、検察による再審決定に対する特別抗告などにありました。

袴田事件などを契機に再審法改正の動きが高まり、「①証拠開示制度化、②検察官抗告禁止」などを盛り込んだ議員立法が国会に提出されましたが、継続審議扱いになっています。

重い腰をあげた法務省は、実質的に現行より再審の道を閉ざしかねない案を示し、自民党とすり合わせしています。議連メンバー等の追及で法務省は「特別抗告」原則禁止を附則に明記まで譲歩、「全面禁止」ではな

いため紛糾、持越しとなりました（5月7日現在）。法案上程なしの可能性も懸念されます。法務省の姿勢を許さず、あくまでも議員立法にそった再審法改正の実現を求めています。ききたいと思えます。



# 「ヘイトNO!全国キャンペーン署名」にご協力ください



ネット空間には、こんな言説が回っています。

- (1)外国人は税金払ってない?
- (2)外国人は社会保障にタダ乗り?
- (3)外国人の医療費は日本人持ち?
- (4)生活保障は外国人ばかり?
- (5)犯罪が増えたのは外国人のせい?
- (6)外国人が多いと治安が悪くなる?

フアクトチェック。①税金を払わない生活は不可能、ただし、日本国民で所得税を払っているのは約4割、②保険料を払わずに社会保障へ加入できない、③外国人は若い人が多く、医療保険ではむしろ日本人を支える側、④政府統計では日本人と外国人の生活保護率はほぼ同じ、⑤犯罪件数はピーク時より半減、外国人の犯罪は同じく半分以下に、⑥外国人の増加と治安悪化に因果関係なしが通説。

## 外国人規制は抑圧に直結

昨年、参議院選挙の前後から、外国人排斥が声高に語られるようになりました。いわゆる

ヘイト扇動です。ヘイトは、ほとんどすべてがウソやデマによるものです。そのようなヘイトをまき散らす勢力が国会で議席を得ました。そして、あろうことか高市政権は「外国人規制」を打ち出しました。

今、日本の社会は、さまざまな国や地域からやってきた人々の活動により支えられているといっても過言ではありません。政府は「多文化共生の推進」を掲げているにもかかわらず、多くの外国人労働者が差別的な扱いを受け、労働法が実態的に適用されていないなど、理不尽な対応により苦しんでいます。「外国人規制」は、結果としてさらなる労働条件の改悪を招きかねません。それが、日本全体の労働者の権利抑圧として跳ね返る危険性すらあります。

## ヘイトの先には何が?

また、ヘイト言動は、LGB TQ+などの多様性尊重の否定や障害のある人や女性、被差別部落出身者への差別などにも向

けられています。「障害者は優遇されている」「女性は優遇されている」「原発事故被災者は優遇されている」「水俣病患者は優遇されている」などです。当然の権利を主張する者を叩くという言動の行く着く先は何でしょうか。103年前、関東大震災では流言飛語が広められて、外国人虐殺に至り、その2年後に治安維持法を制定、日本は戦争への道を進み進みました。

## ヘイトにNO!を



人と人とのつながりを高めるツールだったSNSは、視聴回数を稼げば広告費収入につながることから、扇動的内容が急拡大し、ヘイトの温床になっています。しかし、ヘイトを撒き散らす人はごく少数、事実を拡散するフアクトチェック活動は重要な意味があります。

今まさに、差別のない社会、多様性を認める社会、人権や労働者の権利が尊重される社会、

誰ひとり取り残されることのない社会、よりよい他民族・多文化共生社会が求められています。これらを自らの手で求め、力

を注ぎたい。『平和フォーラム』や『移住者と連帯する全国ネットワーク』、『中小労組政策ネットワーク』は、「ヘイトにNO!全国キャンペーン」を開始しました。

## 署名にご協力ください

退職者会は、この「ヘイトにNO!全国キャンペーン」に賛同し、キャンペーン署名を取り組むことにしました。

- (1)首相みずからがヘイトスピーチに反対することを明言する。
- (2)差別禁止の法律をつくる。
- (3)日本が加盟している国際人権諸条約に基づき、日本に暮らす外国人の人権が守られる制度にする。
- (4)外国人労働者に差別なく労働法を適用する。

ことを、政府・国会に求めるというものです。

時間的に余裕のない取組みですが、会員の皆さまには、ご理解をいただき、ご協力をお願いします。集約日は5月25日です。

## 『19日行動』に、爽やかな新しい風

4月19日14時、国会前に3万6千人が集集し、改憲反対・戦争反対の声をあげました。

## 若い人の発想は面白い

『19日行動』の前々回2月19日はいつものとおり高齢者中心の数千人の集まりでしたが、前回の3月19日は若者2万人の参加があり、今回に繋がりました。前回は夜の開催であり、主催者の呼びかけに応じて多くの人が色とりどりのライトを持って参加していました。今回は休日のため昼の集会となり、どうな



るのかと思っていたら、色とりどりの風車・風船・シャボン玉・派手な飾りのついたプラカード、恐竜のぬいぐるみまで現れて、年寄りの私には到底頭に浮かばない若い人の発想に驚きました。

冒頭司会者から、この集会は無理に国会前まで来なくても国会周辺どこでも楽しめる、運動は楽しまなくて結構な異例の提起。続くコールも調子のいい演奏に乗って、いつもとは大分違うなと思いました。

## 戦争する国反対！コール

主催者挨拶では「高市は来年春までに改憲発議を出す方針を表明した。個人の尊厳よりも、お国のためにと集団の価値を強制する社会に戻してはならない。一緒に声を上げていこう。署名に取り組もう。」と訴えました。

各政党代表は、「憲法9条が自衛隊員の命を守った。緊急事態条項は戒厳令だ。武器輸出で海外の子どもたちを殺してはならない。情報を集め市民を監視

する法律を認めてはならない。街頭署名で意識が変わっていると実感した。誰も憲法変えろとは言っていない。世界が弱肉強食になる不安を多くの人が持っている。戦争をする国造りをやめさせよう。」との表明がありました。

## 自主性重視に好感度アップ

市民団体からは、「武器輸出は主権者の同意を得られていない。国会前に集まった3万人をバカにする国会議員がいる。独裁者は恐怖や冷笑で人を支配しようとする。孤立させ諦めさせようとする。私達をバカにするのは、私達が連帯することを恐れているからだ。」との声が上がりました。

続いて憲法99条と9条を読み上げ憲法の意義を改めて確認し、衆議院憲法審査会のメンバーである中道の議員は、「憲法9条の主語は『日本国民は』だ。一部の国会議員が勝手に都合よく変えていい憲法ではない。スパイ防止法は、統一教会が毎日ロビー活動を続けてい



発言したいと申し込んだ人に自由に発言させる時間を設定し、老若男女が登壇したのも新鮮で、虐待被害などの少女を支援する団体の方や、運動団体等に属していない30代男性が発言しました。最後に改憲反対の新署名に取り組むことを確認し、集会を終わりました。

## すべての道府県で連帯行動

4月の『19日行動』の特徴点は、「自主性」とともに「連帯」でした。国会前集会に呼応し、全道府県で「連帯」の行動が取り生まれ、200箇所以上で集会や行動などが行われたと報道されています。若い層を中心に市民が自主的に行動していることは素晴らしいと思います。

〈記事と写真・岡澤徹〉

# 今年も「4・13根津山小さな追悼会」開催

81年前東京は、3月の下町大空襲、4月城北大空襲、5月山の手空襲の3度の空襲で焼き尽くされました。

豊島区は3分の2が焦土と化し、778人の方が4月13日の夜に亡くなりました。そのうちの身元不明の遺体は、雑司ヶ谷霊園と南池袋公園に仮埋葬され、戦後掘り出され茶毘に付し都の慰霊堂に今も安置されています。

## 市民の手で追悼会開催

この仮埋葬の地だった南池袋



公園に豊島区が慰霊碑を作り、その前で私たち市民の手で空襲のあった4月13日に追悼会が行われています。今年も平日にもかかわらず150名の方が参加され、ボランティアで大正大学の学生さん時代に参加され今のご住職となられた方の読経と近くの教会の牧師様のお祈り、当時3歳だった方の空襲体験のお話、目の前でお母さんが焼け死に、自分も大やけどをおった方の被災体験の朗読、などを行い、最後は献花をして終わりました。

## 戦争体験を風化させない

戦争がこの地で行われ、悲惨な体験があったことが忘れられ、戦争がまた行われようとしています。被災体験を風化させず、平和への思いを語り継いでいくことをし続けたく思います。根津山とは、かつてこの周辺は雑木林の丘で東武の社長の根津さんの私有地だったところから、地元では根津山と呼ばれていたことによるものです。

〈記事と写真・吉田雅明〉

# 5月～6月の主な行事と行動予定

### ●第5回幹事会

\*開催日 5月11日(月)

\*時間 10時30分

\*場所 清掃会館(傍聴可)

### ●目黒フィールドワーク

\*日時 5月15日(金)

\*時間 10時

\*コース 東急目黒線「不動前」駅改札前集合

\*コース 目黒不動と林試の森等、ランチ宴会

\*会費 2500円

\*予備日 5月21日に変更

### ◆清掃・人権交流会「墨田フィールドワーク」

\*日時 5月17日(日)

\*集合 12時・京成押上線「八広」駅前

\*場所 ほうせんかの家、社会福祉会館など

\*参加費 500円

\*申込み 押田幹事へ連絡

### ▼総がかり5・19行動(紹介)

\*日時 5月19日(火)

\*時間 18時30分

\*場所 衆院議員第二会館前歩道

### ▼狭山事件の再審を求める市民集会

\*日時 5月22日(金)

\*時間 18時30分

\*場所 衆院議員第二会館前歩道

\*実施内容 2ゲームマッチと打上げ会

\*参加費 3千円程度の予定

### ●第18回定期総会

\*日時 6月12日(金)

\*時間 10時15分開会

\*場所 清掃会館

### ●ボウリング交流会

\*日時 7月17日(金)

\*時間 13時30分現地集合の予定

\*場所 東京ドームボウル

\*詳細 会場や行動内容等詳細は来月報告

### ▼総がかり6・19行動(紹介)

\*日時 6月19日(金)

\*時間 18時30分

\*場所 衆院議員第二会館前歩道

### ▼ハイトにNO!全国キャン

\*日時 6月21日(日)

\*詳細 会場や行動内容等詳細は来月報告

\*場所 衆院議員第二会館前歩道

\*実施内容 2ゲームマッチと打上げ会

\*参加費 3千円程度の予定



# HIBIYA 97th MAY DAY



ちょっと分かりにくいけど  
東京清掃の団結ガンパロウ

日比谷野外音楽堂が改修工事により使用できなかったため、亀戸中央公園に場所を移し、5月1日、第97回日比谷メーデーが開催されました。

主催者挨拶で渡辺全労協議長は、高市首相の改憲への姿勢を厳しく批判し、労働時間規制緩和方針を断じて許さないと強調。各分野からは、最低賃金・労働法制、外国人労働者問題、反戦・平和などのアピールがあり、開催場所は変わっても、名称だけでなく、闘うメー



デーの伝統を引き継ぐ姿勢も変わりませんでした。ただし、強雨に伴う危険を回避するため、デモ行進は中止となりました。

東京清掃は、会場のキヤパを考慮して参加者数を絞りしましたが、今年も存在感を示しました。

退職者会は少数精鋭？13名が大雨にもめげず参加。今年は終了後の打上げ会を公式行事として行いました。メーデー会場では雨に打たれ、しおたれていましたが、こちらでは元気いっぱいでした。



第97回メーデー中央大会は、4月29日に、代々木公園で開かれ、来賓として登壇した高市首相は、「物価上昇を上回る継続的賃上げへ、皆様のご協力を」と発言しました。一方、芳野連合会長は冒頭の挨拶で、「メーデーは、長時間労働が発端となつて始まったことに立ち返れば、悪い冗談のように聞こえる。改めて、裁量労働制の拡充は不要」と苦言を呈しました。

しかし、首相来場が理由だとしても、入場時の持ち物検査実施は、腹立たしい限りです。

## 中央メーデー



第97回メーデー中央大会

あいさつする高市首相と  
発言を聞く芳野連合会長